



あゆみだより

子どもが思い通りには動かず、育ってくれない姿に、私たちは疲れてしまうことがあります。「思い通りにならない」は、子どもが「よき姿」になってくれることへの期待や希望を持っているためですが、現実はそのようになりません。私たちおとなも「よりよく生きる」願いをもって生きていますが、思い通りにならない現実と向きあい、自分への「情けなさ」を抱いて生きています。「とりあえず〇〇」と自分に言い聞かせ、日々の困難に立ち向かって小さな前進を積み重ねているのではないのでしょうか？子どもも同じだと思うのです。「とりあえず、とりあえず」と言い聞かせて発達の様子を見守っていきたいですね。

園長 杉浦伸枝

3月の予定

- 3日(水) ひなまつり会。午後：在園児契約
- 4日(木) 午前：入園説明会
- 5日(金) お別れ遠足(ぎょぎょランド)※雨天時あゆみ学園にて保育。
- 8日(月)～12日(金) 面接週間(※リハビリはありません)
- 11日・12日：13:30 お帰り。
- 12日：岡村 Dr. 診察(2回目の診察を受けていない園児さんは残ってください)
- 16日(火) 茶話会(※13:30 お帰り)
- 17日(水) 誕生会 25日(木) 13:30 お帰り
- 26日(金) 卒園式 29日(月)～4月1日(木)春休み 4月2日(金) 入園式



外来保育 10:30～11:30
 2日(火)、11日(木)
 18日(木)、22日(月)
 ※4日(木)10時から育成園にて
 入園説明会があります。



感染症や歯磨き後のお口の汚れなどいろいろ気になるところは多いと思います。ある程度姿勢が保て意識して前かがみができるようになってきたお子さんは「ぶくぶくうがい」の練習をしてみましょう(水分で誤嚥の危険性があるお子さんは控えましょう)。

- お風呂で練習してみましょう。

うちの洗面台は大人の高さになっているので踏み台を使っての練習は大変なお子さんもいると思います。お風呂場であれば水が飛び散っても服や床を濡らすことなくトライできるので入浴の際にチャレンジしてみるのもいいと思います。

- まずは口に水を入れて出すことを覚えよう。

「口に水を入れる」→「ぶくぶくする」→「出す」という一連の流れを一気にマスターするのは難しいものです。まずは「水を入れて出す」をマスターしましょう。鏡の前で大人が見本を見せて出すよう促してみよう。その際、コップの水はできるだけ多めに！少ないとコップを傾けることになり、「飲む動作」になるので出来るだけ多めの水を少し傾けて口に入れるようにしてください。また、自分で持たせると「手の動作」と「口の動作」を併せて意識することになるので、まずは大人がコップを持って介助し、口の動きに集中できるようにした方がいいと思います。口から水を出す時は少し大人が頭を前に傾けるようサポートし水を出す動きを助けてあげましょう。

- 「ぶくぶく」の動きはまずは水なしで練習。

まずは水なしで鏡を見ながら頬を膨らませたりへこませたりしながら「ぶくぶく」の動きを真似できるように促してみてください。難しい場合は口を閉じて「モグモグ」のような動きを見せて真似してもらってください。実際口に水がある状態の時に「モグモグ」と口を動かすと水が口腔内で動いて汚れを落としてくれると思います。

- 難しいお子さんは口腔内の清拭をしてみましょう。

うがいが難しいお子さんは歯磨き後にガーゼなどを使って口腔内を拭いておきましょう。嚥んでしまう危険性が高いお子さんは歯列に沿って指を入れるようにして歯列よりも奥は無理に手を入れないように注意してください。

